

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 8 月 20 日

津地方裁判所四日市支部

裁判所書記官 大 山 裕 一

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 9 月 3 日 午前 9 時 0 0 分から 令和 7 年 9 月 1 0 日 午後 5 時 0 0 分まで
開札期日	日 時 場 所 令和 7 年 9 月 1 7 日 午前 1 0 時 0 0 分 津地方裁判所四日市支部売却場
売却決定 期日	日 時 場 所 令和 7 年 1 0 月 6 日 午前 9 時 4 0 分 津地方裁判所四日市支部
特別売却 実施期間	令和 7 年 1 0 月 1 日 午後 1 時 0 0 分から 令和 7 年 1 0 月 1 日 午後 4 時 0 0 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 3 3 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 8 月 2 0 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	6,870,000 5,496,000	一括	1,374,000	48,170	9,957
1	4,030,000				
2	2,840,000				
					</



物 件 目 録

- 1 所 在 四日市市采女が丘二丁目
地 番 62 番 1
地 目 宅地
地 積 254.37 平方メートル
- 2 所 在 四日市市采女が丘二丁目 62 番地 1
家屋 番号 62 番 1
種 類 店舗・居宅
構 造 木造瓦葺 2 階建
床 面 積 1 階 91.25 平方メートル
2 階 52.99 平方メートル
(現況)
種 類 居宅
(附属建物)
符 号 1
種 類 物置
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 4.23 平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年 6月23日

津地方裁判所四日市支部

裁判所書記官 大 山 裕 一

-
- 1 不動産の表示
【物件番号1, 2】
別紙物件目録記載のとおり
 - 2 売却により成立する法定地上権の概要
なし
 - 3 買受人が負担することとなる他人の権利
【物件番号1, 2】
なし
 - 4 物件の占有状況等に関する特記事項
【物件番号2】
本件所有者が占有している。
 - 5 その他買受けの参考となる事項
なし
-

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載したものですので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物件目録

- 1 所 在 四日市市采女が丘二丁目
 地 番 62番1
 地 目 宅地
 地 積 254.37平方メートル

- 2 所 在 四日市市采女が丘二丁目 62番地1
 家屋 番号 62番1
 種 類 店舗・居宅
 構 造 木造瓦葺2階建
 床 面 積 1階 91.25平方メートル
 2階 52.99平方メートル
 (現況)
 種 類 居宅
 (附属建物)
 符 号 1
 種 類 物置
 構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
 床 面 積 4.23平方メートル



令和7年(ケ)第12号
令和7年4月21日受理
令和7年5月21日提出

現況調査報告書

津地方裁判所四日市支部

執行官 野 添 学

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | | |
|---|-----|---------------|--|
| 1 | 所 在 | 四日市市采女が丘二丁目 | |
| | 地 番 | 62 番 1 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 254.37 平方メートル | |
-
- | | | | |
|---|-------|---------------------|--------------|
| 2 | 所 在 | 四日市市采女が丘二丁目 62 番地 1 | |
| | 家屋 番号 | 62 番 1 | |
| | 種 類 | 店舗・居宅 | |
| | 構 造 | 木造瓦葺 2 階建 | |
| | 床 面 積 | 1 階 | 91.25 平方メートル |
| | | 2 階 | 52.99 平方メートル |
- (附属建物)
- | | | | |
|--|-------|---------------|--|
| | 符 号 | 1 | |
| | 種 類 | 物置 | |
| | 構 造 | 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 | |
| | 床 面 積 | 4.23 平方メートル | |



(土地・建物用)

不 動 産 の 表 示		「物件目録」のとおり	
住 居 表 示		(住居表示未実施)	
土 地		物件 1	
現 況 地 目	☒ 宅地（物件 1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形 状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下 記 以 外 の 建 物 （ 目 的 外 建 物 ）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
そ の 他 の 事 項			
建 物		物件 2	
種 類 ， 構 造 及 び 床 面 積 の 概 略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☒ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☒ 種 類：居宅 ☐ 構 造： ☐ 床面積：		
物 件 目 録 に な い 附 属 建 物	☒ ない ☐ ある { 種 類： 構 造： 床面積：		
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上 記 以 外 の 敷 地 （ 目 的 外 土 地 ）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
そ の 他 の 事 項			
執 行 官 保 管 の 仮 処 分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 令和 年（ ）第 号 保管開始日 令和 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(2枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
☒ A (所有者)	1 本件物件所在地には現在私の妻が一人で居住しています。私は事情があって現在は同居していません。なお、妻とは離婚しているわけではありませんし、今回の競売の開始決定正本も妻を介して受け取っています。 2 本件建物は、元々は若夫婦が美容院をここで開業しようとして建築した建物だと聞いています。建物の1階西側内部に内装を施していない箇所がありますが、そこが店舗として予定されていたところで、美容院をする話がなくなったので内装工事が未施工の状態になっています。 3 本件建物を建てた若夫婦は、ここに数か月住んだだけで引っ越されたそうで、私がその後に内装工事が未施工の状態の本件物件を売買で取得しました。

執行官の意見

- 1 本件物件所在地には、所有者の名字が記載された表札が存在した。
- 2 本件物件の占有関係については、関係人の陳述、所有者の住民票、物件の現況を踏まえ、本報告書2枚目記載のとおり所有者が占有しているものと認め、所有者の妻についてはその占有補助者と認定した。
- 3 関係人の陳述にもあるとおり、物件2主たる建物の1階の西側のエリアは、内装工事が未施工の状態であった（間取図、写真⑤参照）。なお、登記上の建物の種類は「店舗・居宅」であるが、店舗として予定していた部分についてはその内装が未施工で、店舗としての用途性を有するに至っていないことから、本報告書においてはその種類を「居宅」とした。
- 4 物件2主たる建物の1階キッチンの北東角付近、2階廊下及び2階北東側洋室の床面にビー玉を置いたところ、概ね東向きに緩やかに転がる現象を認めたことから、付近の床面が同方向に傾斜している可能性がある。

(調査経過用)

調査の経過

調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7年4月21日（月） 14：50－15：00	津地方法務局 四日市支局	公図、登記等調査
7年 4月22日（火） 15：50－16：05	物件所在地	現場所在確認、外観写真撮影、通知書差置
7年 4月30日（水）	執行官室	所有者宛、現地調査期日通知書及び占有関係に関する 照会書面送付 四日市市上下水道局宛、照会書面送付
7年 5月 7日（水） 11：20－11：30 13：30－13：45	四日市市役所 電話	家屋平面図調査 所有者から電話聴取
7年 5月 8日（木） 15：40－15：50	四日市市役所	住民票調査
7年 5月 9日（金） 9：40－ 9：45	電話	所有者から電話聴取、現地調査期日日程調整
7年 5月15日（木） 10：25－11：45	物件所在地	物件立入調査（全室）、写真撮影、所有者から面談聴 取、評価人同行

(特記事項)

□ 令和 年 月 日

目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

□ 令和 年 月 日

目的物件は不在で施錠されていたので、立会人を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

□ 令和 年 月 日

休日・夜間執行許可の提示をした。

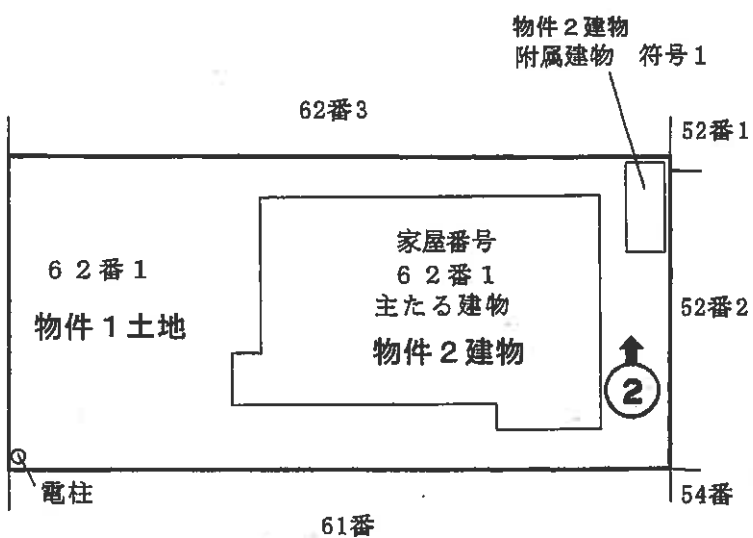


(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)

土地建物位置関係図

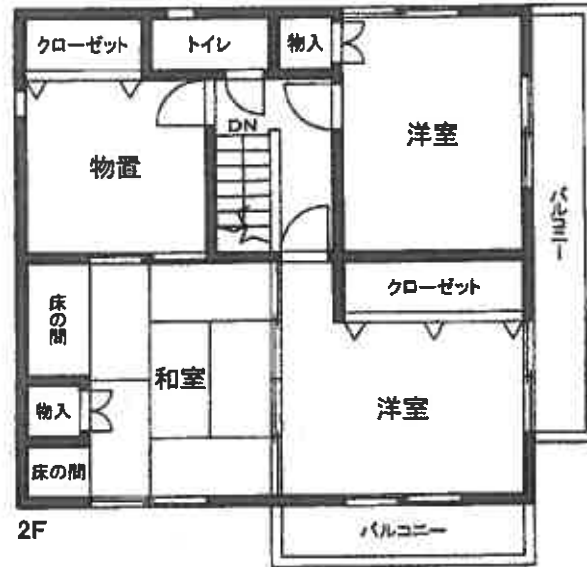


建築基準法
第42条1項1号
道路（市道）



←○の印は写真の撮影位置方向番号

間 取 図



附属建物符号 1



←○の印は写真の撮影位置方向番号

①



物件2
主たる建物

物件1 土地

②



物件2
附属建物
符号1

物件2 主たる建物

(8枚目)

③

写真③～⑤は
物件2主たる
建物内部を撮
影



④



⑤



⑥



物件2附属
建物符号1
内部



令和7年（ケ）第12号			
令和	7年	5月15日	現地調査
令和	7年	5月26日	評価

津地方裁判所 四日市支部 御中

評価書

評価人 不動産鑑定士

前田 直人 印

第1 評 価 額

一 括 価 格	
金 6,870,000 円	
内 訳 価 格	
物件 1 (土地)	金 4,030,000 円
物件 2 (建物)	金 2,840,000 円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行う事を前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

* * * 以 下 余 白 * * *

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。
- 5 その他特別の評価条件
特になし。

* * * 以 下 余 白 * * *

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所在等	登記	現況
1	所在	四日市市采女が丘二丁目	
	地番	6 2 番 1	
	地目	宅 地	
	地積	254.37 m ²	
	所有者	A	
2 主たる建物	所在	四日市市采女が丘二丁目 6 2 番地 1	
	家屋番号	6 2 番 1	
	種類	店舗・居宅	居宅
	構造	木造瓦葺 2 階建	
	床面積	1 階 91.25 m ² 2 階 52.99 m ² 延べ 144.24 m ²	
	所有者	A	
2 附属建物	所在	四日市市采女が丘二丁目 6 2 番地 1	
	符号	1	
	種類	物置	
	構造	木造亜鉛メッキ鋼板葺 平家建	
	床面積	1 階 4.23 m ² 延べ 4.23 m ²	
	所有者	A	
番号	特 記 事 項		
—	○特になし。		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置・交 通	四日市あすなろう鉄道内部線「内部」駅 南西方・直線距離 約1.3km (附属資料「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	中規模一般住宅が建ち並ぶ丘陵地の住宅地域。	
主な公法上の 規制等 (道路の幅員等の 個別的な規制を 考慮しない一般 的な規制)	都 市 計 画 区 分	都市計画区域・市街化区域
	用 途 地 域	第1種低層住居専用地域
	指 定 建 ぺ い 率	50%
	指 定 容 積 率	80%
	防 火 規 制	—————
	そ の 他 の 規 制	外壁の後退距離1m, 建築物の高さ制限10m
画 地 条 件	・地積: 254.37㎡ (登記地積) ※現況と特に著しい相違は認められない。 ・長形状画地 ・間口: 約11m, 奥行: 約23m ・概ね平坦地勢, 東側隣接地は一段低い	
接 面 道 路	・西側 幅員約12m (種別: 市道), 舗装有 ※建築基準法第42条1項1号道路 ※接面道路とほぼ等高	
土地の利用状況等	・現況宅地 ・目的物件2の敷地として利用されている。	
供 給 処 理 施 設 (注)	上 水 道	有
	ガ ス 配 管	有
	下 水 道	有
特 記 事 項	・目的物件1に電柱が存する。 ・目的物件1は, 現在までの利用履歴や現在の利用状況から土壌汚染の可能性は低いと史料するが, 土壌調査を行っていないため詳細は不明である。	

(注) 「有」, 「無」の基準については, 以下のとおり。

※「有」: 該当施設の本管から, 目的物件内への引込がなされている。

※「無」: 該当施設の本管から, 目的物件内への引込がなされていない。

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主たる建物	
建築時期及び 経済的残存耐 用年数	建築年月日（登記記載）	平成5年9月28日 新築
	経 過 年 数	32 年
	経済的残存耐用年数	0 年
仕 様	構 造	木造
	屋 根	瓦葺
	外 壁	サイディング、タイルなど
	内 壁	クロスなど
	天 井	クロスなど
	床	フローリング、畳など
	設 備	電気、給排水、衛生など
	そ の 他	_____
床面積（現況）	1 階	91.25 m ²
	2 階	52.99 m ²
現況用途等	延べ	144.24 m ²
	現 況 用 途	居宅
品 等	間 取	別添建物見取図参照
	普通	
保 守 管 理 の 状 態	劣る	
建物の利用 状 況	・ 居宅として利用 ・ 建物所有者が住居として使用している（「現況調査報告書」参照）。	
特 記 事 項	・ 物件2主たる建物の1階の西側のエリアは、内装工事が未施工の状態であった。 ・ 物件2主たる建物の1階キッチンの北東角付近、2階廊下及び2階北東側洋室の床面にビー玉を置いたところ、概ね東向きに緩やかに転がる現象を認めたことから、付近の床面が同方向に傾斜している可能性がある。 ・ 建築後相当の期間が経過しており、内装工事が未施工の部屋があるなど、機能的・経済的な減価が大きい。中古建物の市場での取引価格水準を勘案して後記建物価格の算定における観察減価率を査定した。	

3 建物の概況及び利用状況（物件2 附属建物符号1）

区 分	附属建物	
建築時期及び 経済的残存耐 用年数	建築年月日（登記記載）	平成5年9月28日 新築
	経 過 年 数	32 年
	経済的残存耐用年数	0 年
仕 様	構 造	木造
	屋 根	亜鉛メッキ鋼板葺
	外 壁	裏現し
	内 壁	裏現し
	天 井	裏現し
	床	土間コンクリート
	設 備	_____
	そ の 他	_____
床面積（現況）	1 階	4.23 m ²
	延べ	4.23 m ²
現況用途等	現 況 用 途	物置
	間 取	別添建物見取図参照
品 等	普通	
保 守 管 理 の 状 態	普通	
建物の利用 状 況	・物置として利用 ・建物所有者が物置として使用している（「現況調査報告書」参照）。	
特 記 事 項	・単独での市場性を有しておらず、本件評価においては、主たる建物と一体的に評価した。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ=オ
1	44,100	1.00	254.37	1.00	11,210,000

※万円未満切捨

ア 標準画地価格・・・・・・ 別紙「標準画地価格決定表」参照。

イ 個別格差・・・・・・ 1.00

・概ね標準的であると判断した。

ウ 地 積・・・・・・ 登記数量による。

エ 建 付 減 価・・・・・・ 建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた（附属建物を含む）。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現 況 延 床 面 積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ=エ
2	180,000	148.47	0.01	260,000

※万円未満切捨

ウ 現価率・・・・・・ 耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた。

$$\text{現価率} = \left\{ \text{残価率} 0.05 + (1 - 0.05) \times \frac{0 \text{ <注1>}}{(32 + 0) \text{ <注2>}} \right\} \times \frac{\text{観察減価率}}{(1 - 0.80)}$$

$$= 0.01$$

※小数点第3位四捨五入

<注1>経済的残存耐用年数
<注2>経過年数

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ	土地利用権等価格 (円) ア×イ＝ウ
1	11,210,000	0.40 法定地上権	4,480,000

※万円未満四捨五入

イ 土地利用権等割合

- ・土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を40%と査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) <1(1)オ> <1(2)エ> ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) <2(1)ウ> イ	占有 減価 修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売 市場 修正 オ	評価額 (円) (ア±イ)×ウ ×エ×オ
1	11,210,000	－ 4,480,000		1.00	0.60	4,030,000
2	260,000	＋ 4,480,000	1.00	1.00	0.60	2,840,000
一 括 価 格 (合計)						6,870,000

※万円未満切捨

ウ 占有減価修正：特になし。

エ 市場性修正：特になし。

オ 競売市場修正

- ・評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 附 属 資 料

- ・ 位置図
- ・ 公図写し（法務局備付図面に基づく）
- ・ 地積測量図写し（同上）
- ・ 建物図面写し（同上）
- ・ 各階平面図写し（同上）
- ・ 略配置図
- ・ 建物見取図
- ・ 仮名一覧表

以 上

標準画地価格決定表

(1) 標準画地の概要

※幅員約12m舗装道路沿いの規模約250㎡の整形地

(2) 地価公示価格：四日市－30

所 在：四日市市采女が丘4丁目116番

価 格：43,200 円/㎡

位 置：四日市あすなろう鉄道内部線「内部」駅の南西方 道路距離約2.1km

価 格 時 点：令和7年1月1日

地 積：216 ㎡

供給処理施設：水道，ガス，下水

接 面 街 路：北側，幅員6.0m市道

用 途 指 定 等：市街化区域，第1種低層住居専用地域

(指定建ぺい率：50%，指定容積率：80%)

地 域 の 概 要：中規模一般住宅が建ち並ぶ丘陵地の住宅地域

(3) 地価公示価格・地価調査価格を規準とした価格

価 格 時 点 年 月 日	価 格 円/㎡ ア	時 点 修 正 イ	標準化 補 正 ウ	地域 要 因 エ	規準とした価格 円/㎡ ア×イ×ウ×エ
令和7年1月1日	43,200	$\times \frac{100.2}{100}$	$\times \frac{100}{100}$	$\times \frac{100}{98}$	= 44,100

ウ 主たる標準化補正内訳・・・ 標準的

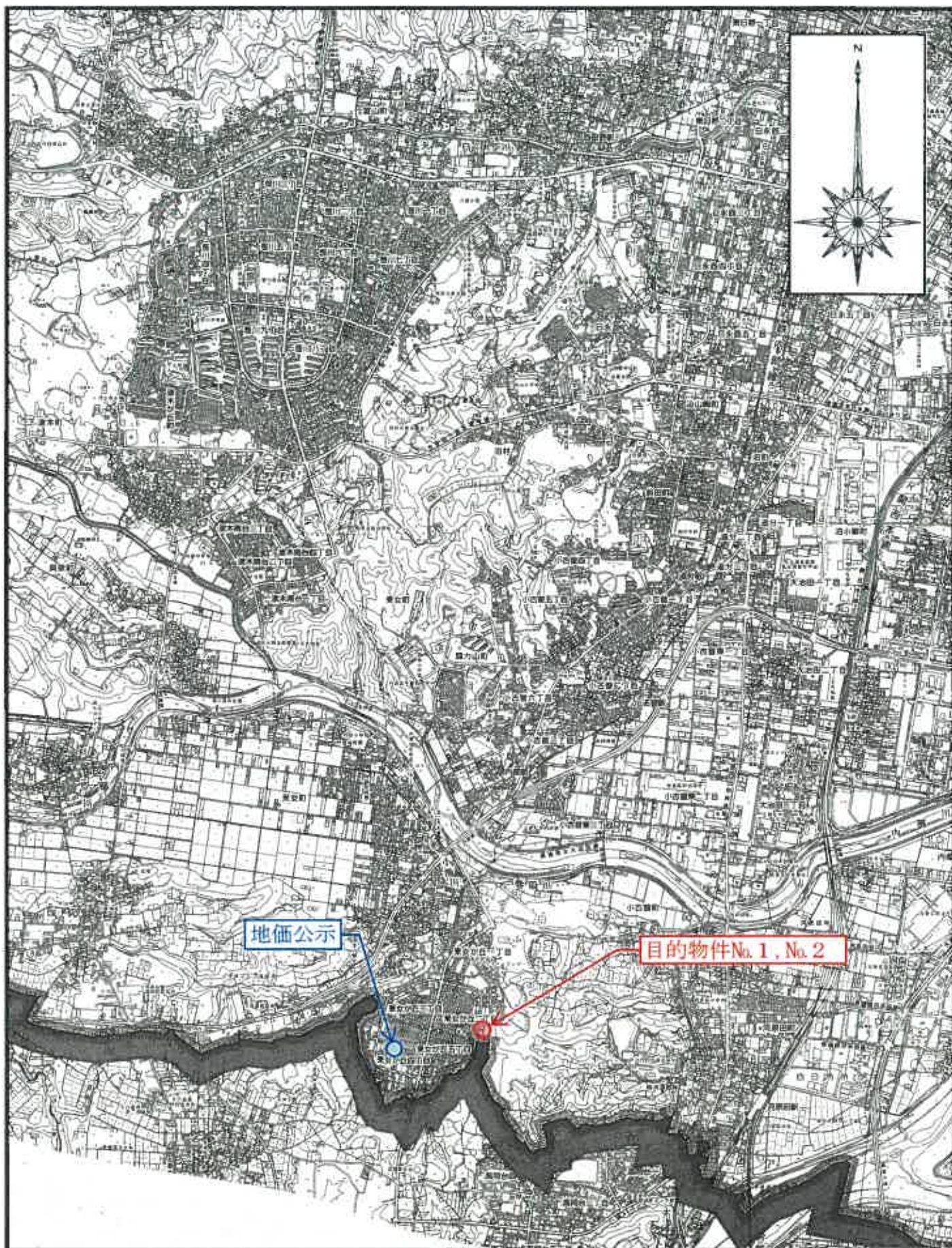
エ 主たる地域要因内訳・・・ 98 (街路，環境条件格差等を考慮した)

(4) 標準価格の決定

標準画地の価格は，(3)で求めた価格との均衡及び近時の地価動向の特徴等を総合的に勘案し，44,100 円/㎡と決定した。

○ 標準価格 44,100 円/㎡

附 属 資 料

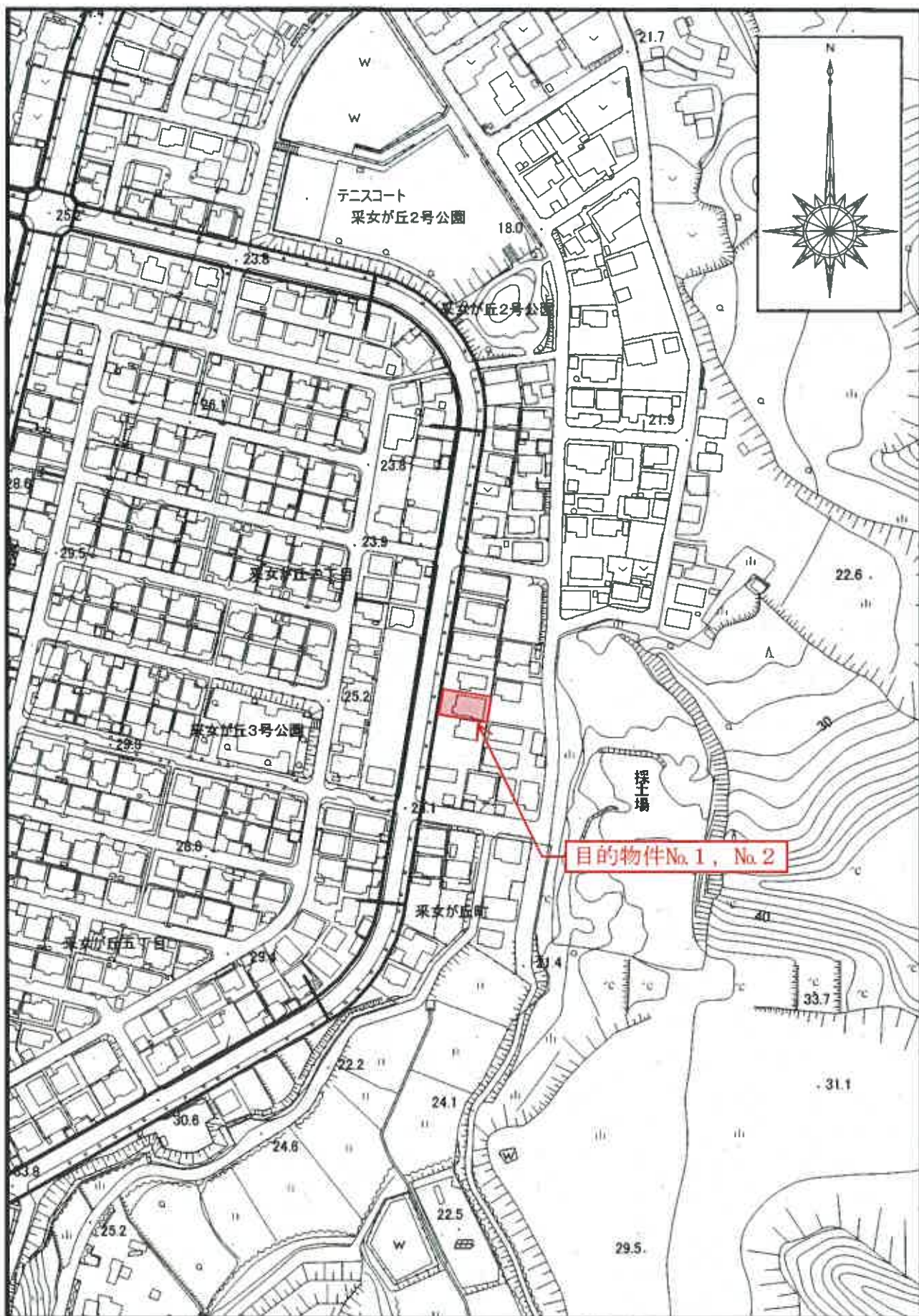


位置図 S = 1 : 25000
※四日市市役所『白図』



位置図 S = 1 : 10000

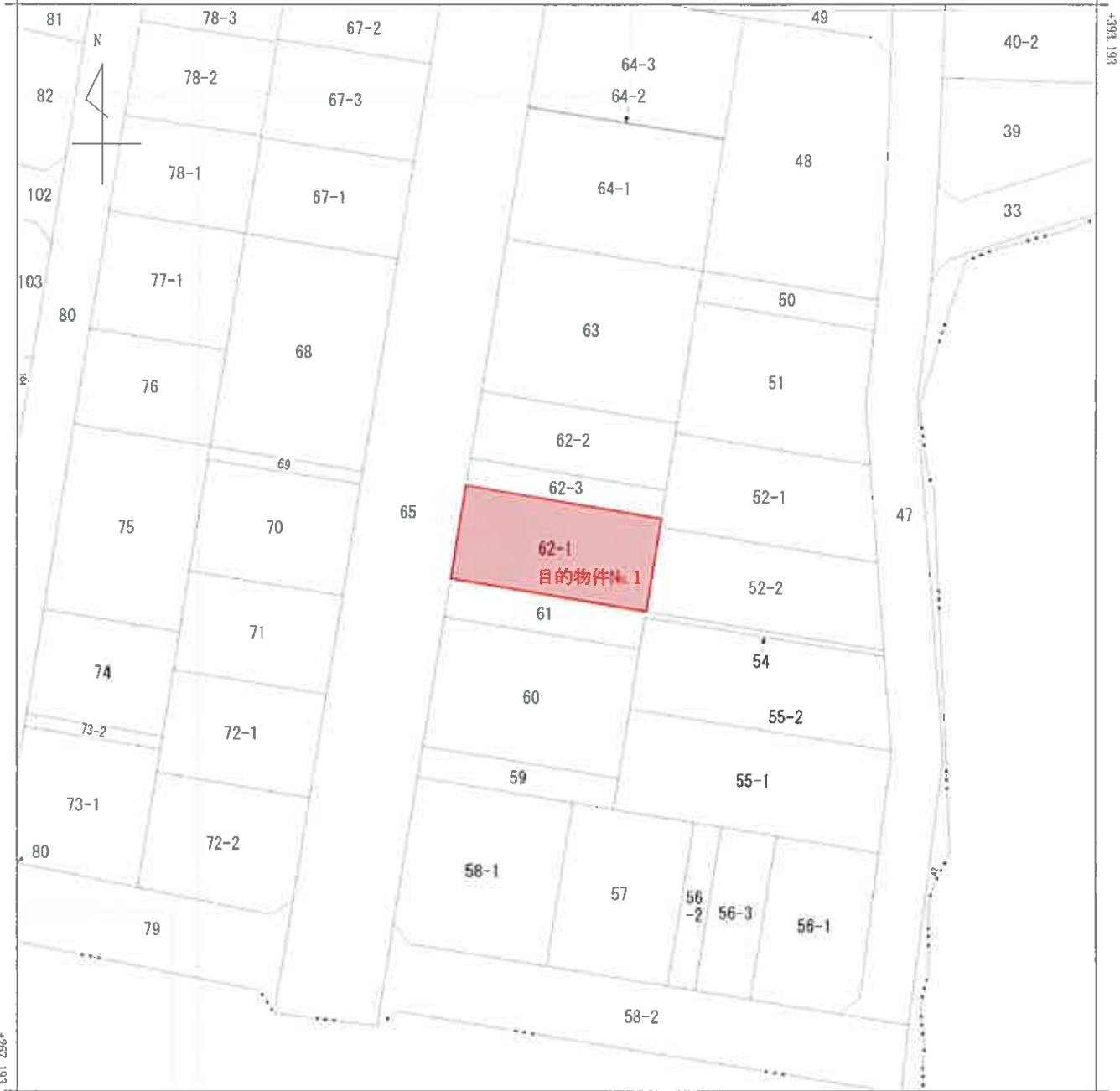
※四日市市役所『白図』



位置図 S = 1 : 2500

※四日市市役所『白図』

(座標値種別：図上測定) +678.246



地番区域見出
采女が丘
2丁目

請求部	所在	四日市市采女が丘二丁目				地番	62番1			
出力尺	1/500	精度分	甲二	座標系 番号又は記号	VI	分類	地図(法第14条第1項)		種類	土地地区画整理所在図
作成年月日	平成6年1月10日				備付年月日 (原図)			補記事項		

登記年月日：平成6年7月13日

2050519

前 62-1 後 新

地積測量図

62-1, -3

四日市市采女が丘二丁目

地番

土地の所在

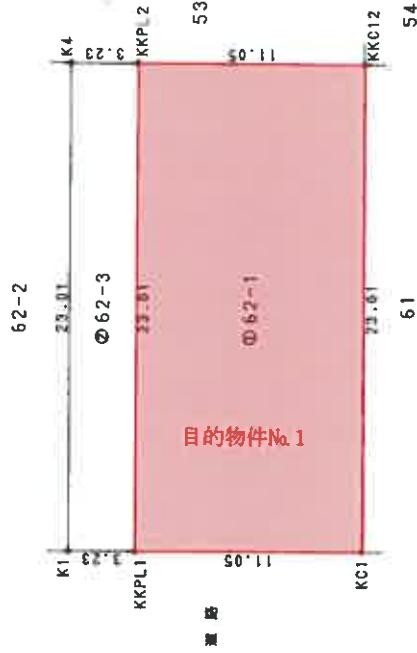
求積表

地番	NO	62-1	X _n	Y _n	X _n - (Y _{n+1} - Y _{n-1})	面積
	KKPL1		43.002	83.801	-1090.362330	23.01
	KC1		32.572	80.364	600.562536	11.05
	KKC12		25.425	102.239	643.481325	23.01
	KKPL2		35.927	105.673	-662.422026	11.05
	合計				-508.740503	
	面積				254.3702515	
	面積				254.37	m ²
	面積				76.94	m ²

地番	NO	62-3	X _n	Y _n	X _n - (Y _{n+1} - Y _{n-1})	面積
	K1		46.151	84.805	-1055.296427	23.01
	KKPL1		43.082	83.801	899.035176	3.23
	KKPL2		35.927	105.673	821.901979	23.01
	K4		39.001	106.678	-813.872868	3.23
	合計				-148.732140	
	面積				74.3660700	
	面積				74.36	m ²
	面積				22.49	m ²

境界線明示なし測点位置一覧

点名	X	Y
K1	46.151	84.805
K4	39.001	106.678



境界線の種類	測点名
異設コンクリート杭	KC1
新設金属標	KKPL1, KK12
新設金属標	KKPL2
明番なし	K1, K4

地積測量図写し

(A3をA4に縮小)

6年 7.13 処理

作製者

申請人

縮尺 1/250

佐 藤 昌 良

(三重県土地家屋調査士会印)

登記年月日：平成12年6月5日

各階平面図 4051653

建物図面

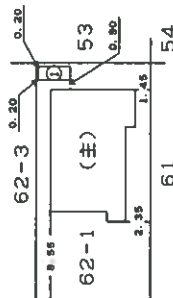
62-1

家屋番号

四日市市宋文が丘二丁目62番地1

建物の所在

附録第八号ノ四



道 路

求積表

3.14 x 1.35 = 4.2390
床面積 4.23㎡

12.6.11
処理

作製者

縮尺 1 / 250

申請人

縮尺 1 / 500

(三重県土地家屋調査士会印)

目的物件No. 2

建物図面・各階平面図写し

登記年月日: 平成5年10月13日

各階平面図 4051654

建物図面

家屋番号 2405番1-62番1

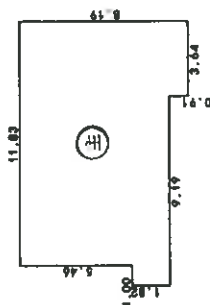
建物の所在
四日市市東分町字四区万葉2405番地1-
四日市市桑名が丘二丁目62番地1

(仮換地四日市市桑名土地区画整理地区ロッタ子定地番14番)

附録第八号ノ四

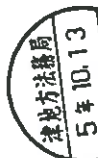
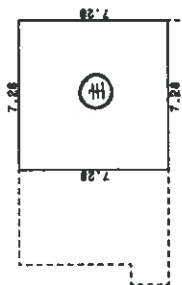
1階

求積表
5.46 x 11.83 = 64.5918
1.82 x 12.83 = 23.3506
0.91 x 3.64 = 3.3124
合計 91.2548
床面積 91.25 m ²



2階

求積表
7.28 x 7.28 = 52.9984
床面積 52.99 m ²



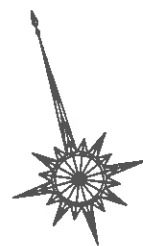
作製者

縮尺 1/250

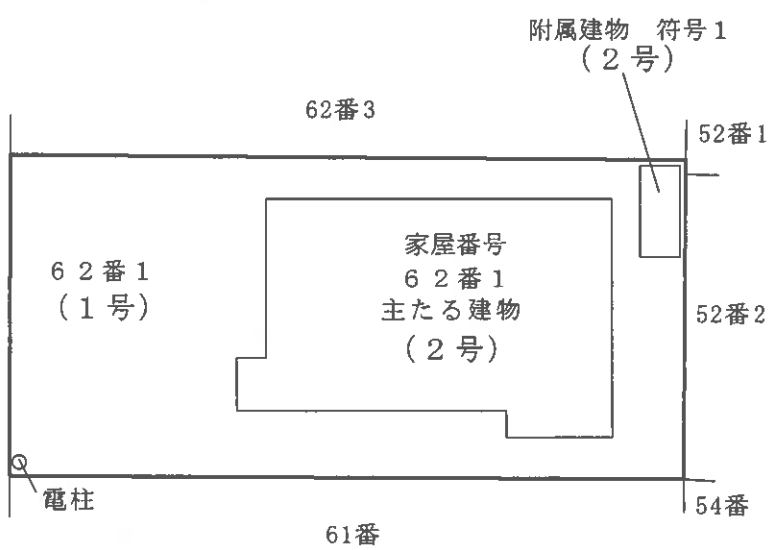
申請人

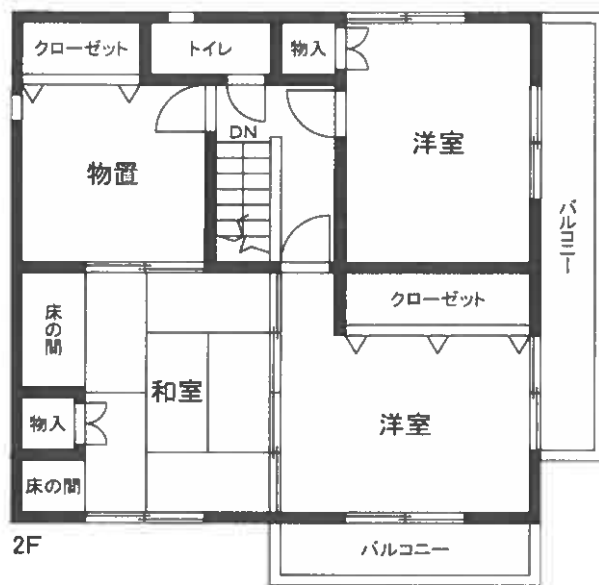
縮尺 1/500

(三重県土地家屋調査士会用紙)



建築基準法
第42条1項1号
道路（市道）





2号建物見取図